

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成23年5月11日
【四半期会計期間】	第49期第3四半期（自平成23年1月1日至平成23年3月31日）
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	AXYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々倉 豊
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第3四半期連結 累計期間	第49期 第3四半期連結 累計期間	第48期 第3四半期連結 会計期間	第49期 第3四半期連結 会計期間	第48期
会計期間	自平成21年 7月1日 至平成22年 3月31日	自平成22年 7月1日 至平成23年 3月31日	自平成22年 1月1日 至平成22年 3月31日	自平成23年 1月1日 至平成23年 3月31日	自平成21年 7月1日 至平成22年 6月30日
売上高(千円)	10,993,909	11,232,002	3,456,806	3,527,673	14,757,551
経常利益(千円)	383,028	609,851	11,962	162,641	529,671
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( )(千円)	227,106	350,060	4,451	64,300	383,619
純資産額(千円)	-	-	5,295,166	5,733,035	5,438,366
総資産額(千円)	-	-	8,521,506	8,408,054	8,261,138
1株当たり純資産額(円)	-	-	942.85	1,020.83	968.35
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( )(円)	40.44	62.33	0.79	11.45	68.31
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	62.1	68.2	65.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	458,711	384,477	-	-	590,523
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	664,978	74,884	-	-	999,584
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	181,100	150,944	-	-	211,365
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	764,358	839,717	531,299
従業員数(人)	-	-	661	722	722

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年3月31日現在

従業員数（人）	722 (1,353)
---------	-------------

（注）従業員数は、就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、（ ）書きは外書で、臨時従業員の当第3四半期連結会計期間平均雇用人員を記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成23年3月31日現在

従業員数（人）	547 (282)
---------	-----------

（注）従業員数は、就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、（ ）書きは外書で、臨時従業員の当第3四半期会計期間平均雇用人員を記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	前年同四半期比(%)
鶏肉関連(千円)	2,171,074	-
合計(千円)	2,171,074	-

- (注) 1. 金額は製造価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当社グループは、製品の性質上そのほとんどについて需要予測に基づく見込生産を行っております。

#### (3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	前年同四半期比(%)
鶏肉関連(千円)	2,739,249	-
外食(千円)	788,424	-
合計(千円)	3,527,673	-

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
2. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
フードリンク株式会社	1,101,688	31.9	1,042,817	29.6
株式会社ニチレイフレッシュ	871,026	25.2	930,231	26.4

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに生じたリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

##### (1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間における当社グループを取り巻くわが国経済の環境は、アジア新興国の高い経済成長による輸出の増加や、政府の経済対策の効果により緩やかに改善傾向にありましたが、依然として続く厳しい雇用情勢や急激な円高の影響により、景気は足踏み状態のまま推移いたしました。

このような中で、鶏肉業界におきましては、鳥インフルエンザの動きが世界的に収まらない状況で、国内鶏肉在庫の不足感もあり、国内鶏肉相場（荷受市場でのもも肉とむね肉相場の単純合算金額）は、前年同期に比べ若干強含みに推移いたしました。

このような状況下で、外食事業の売上が堅調に推移したことを主因に、売上高は35億27百万円（前年同四半期比2.1%増）の増収となりました。また、全社グループで事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んだ結果、営業利益1億43百万円（同514.5%増）、経常利益1億62百万円、四半期純利益は64百万円それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

##### 鶏肉関連

当社は消費者の皆様方が安全で安心できる製品「薩摩ハーフ悠然どり」の需要ニーズにお答えするために、当四半期につきましても引き続き増産する計画ではございましたが、一部で生産性が低下したこともあり、生産量が前年同期並みにとどまった結果、売上高は27億39百万円となりました。

しかしながら、全社・全員のコスト削減意識が浸透し、コスト合理化が進行した結果、セグメント利益は73百万円となりました。

##### 外食

KFC店舗が、既存店及び前連結会計年度に出店した店舗（6店舗）の売上が引き続き好調であったことを主因に、売上高7億88百万円、セグメント利益は69百万円となりました。

##### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

##### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億46百万円増加し、84億8百万円となりました。これは、現金及び預金が1億17百万円減少したものの、たな卸資産が25百万円、投資その他の資産が2億29百万円増加したこと等によるものであります。

##### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億47百万円減少し、26億75百万円となりました。これは主に、未払金が1億円、長期借入金が75百万円減少したこと等によるものであります。

##### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億94百万円増加し、57億33百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億79百万円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は8億39百万円となり、第2四半期連結会計期間末と比較して1億61百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金収支は、1億83百万円の資金減少（前年同四半期は18百万円の資金減少）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1億28百万円、投資有価証券評価損34百万円があったものの、たな卸資産の増加1億53百万円、仕入債務の減少1億2百万円、法人税等の支払額84百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金収支は、3億71百万円の資金増加（前年同四半期は5億38百万円の資金減少）となりました。これは、貸付けによる支出が7百万円あったものの、定期預金の払戻による収入3億76百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金収支は、25百万円の資金減少（前年同四半期は30百万円の資金減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が25百万円減少したこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの事実上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、24百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成23年5月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年1月1日～ 平成23年3月31日	-	5,617,500	-	452,370	-	428,340

#### (6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ  
ん。



(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成22年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,615,800	56,158	-
単元未満株式	普通株式 300	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,158	-

【自己株式等】

平成22年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アクシーズ	鹿児島市草牟田二丁目1番8号	1,400	-	1,400	0.02
計	-	1,400	-	1,400	0.02

## 2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年 1月	2月	3月
最高(円)	722	700	723	757	705	702	715	710	770
最低(円)	672	652	685	680	660	669	685	680	584

(注) 最高・最低株価は、平成22年10月12日より大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)におけるものであり、それ以前は大阪証券取引所JASDAQ市場におけるものであります。

## 3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年7月1日から平成22年3月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成23年1月1日から平成23年3月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年7月1日から平成23年3月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年7月1日から平成22年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成23年1月1日から平成23年3月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年7月1日から平成23年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	939,717	1,057,299
受取手形及び売掛金	1,060,886	1,116,097
製品	140,909	182,238
仕掛品	202,979	185,136
原材料及び貯蔵品	631,904	583,380
その他	469,616	156,978
貸倒引当金	540	1,376
流動資産合計	3,445,472	3,279,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1 412,285	1 431,908
工具、器具及び備品(純額)	1 564,546	1 508,419
土地	2,761,132	2,759,672
その他(純額)	1 44,858	1 319,156
有形固定資産合計	3,782,823	4,019,156
無形固定資産	59,381	71,665
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,125,261	893,394
貸倒引当金	4,884	2,831
投資その他の資産合計	1,120,376	890,563
固定資産合計	4,962,581	4,981,384
資産合計	8,408,054	8,261,138
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	373,200	394,741
1年内返済予定の長期借入金	101,000	106,000
未払金	773,477	873,534
未払法人税等	174,026	79,833
賞与引当金	85,932	-
その他	107,760	191,052
流動負債合計	1,615,397	1,645,163
固定負債		
社債	499,800	499,800
長期借入金	39,500	115,250
退職給付引当金	204,364	244,217
役員退職慰労引当金	93,755	96,888
その他	222,201	221,451
固定負債合計	1,059,621	1,177,608

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
負債合計	2,675,018	2,822,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	4,811,678	4,531,819
自己株式	1,087	1,034
株主資本合計	5,691,300	5,411,494
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,734	31,916
繰延ヘッジ損益	-	5,044
評価・換算差額等合計	41,734	26,871
純資産合計	5,733,035	5,438,366
負債純資産合計	8,408,054	8,261,138

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書 】  
【 第 3 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 7月 1日 至 平成22年 3月 31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 7月 1日 至 平成23年 3月 31日)
売上高	10,993,909	11,232,002
売上原価	7,627,875	7,632,040
売上総利益	3,366,033	3,599,962
販売費及び一般管理費	3,032,064	3,070,822
営業利益	333,969	529,139
営業外収益		
受取利息	2,006	4,226
受取配当金	1,975	4,749
持分法による投資利益	25,057	55,680
為替差益	-	5,644
その他	32,378	19,904
営業外収益合計	61,419	90,205
営業外費用		
支払利息	9,362	7,817
為替差損	15	-
その他	2,981	1,675
営業外費用合計	12,359	9,493
経常利益	383,028	609,851
特別利益		
固定資産売却益	-	9,193
収用補償金	37,283	100,725
特別利益合計	37,283	109,918
特別損失		
固定資産除却損	314	1,201
固定資産売却損	-	3
固定資産圧縮損	37,283	93,975
投資有価証券評価損	-	34,076
減損損失	6,519	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	21,346
特別損失合計	44,117	150,602
税金等調整前四半期純利益	376,194	569,168
法人税、住民税及び事業税	162,119	251,983
法人税等調整額	13,031	32,874
法人税等合計	149,088	219,108
少数株主損益調整前四半期純利益	-	350,060
四半期純利益	227,106	350,060

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	3,456,806	3,527,673
売上原価	2,435,630	2,411,830
売上総利益	1,021,176	1,115,843
販売費及び一般管理費	997,878	972,665
営業利益	23,298	143,177
営業外収益		
受取利息	1,182	1,129
受取配当金	-	2,783
持分法による投資利益	-	4,565
為替差益	-	8,141
受取補償金	11,660	-
その他	4,453	6,479
営業外収益合計	17,296	23,099
営業外費用		
支払利息	3,031	2,528
為替差損	770	-
持分法による投資損失	23,109	-
その他	1,720	1,107
営業外費用合計	28,632	3,635
経常利益	11,962	162,641
特別利益		
収用補償金	37,283	8,616
特別利益合計	37,283	8,616
特別損失		
固定資産除却損	314	903
固定資産売却損	-	3
固定資産圧縮損	37,283	8,038
投資有価証券評価損	-	34,076
特別損失合計	37,598	43,021
税金等調整前四半期純利益	11,647	128,236
法人税、住民税及び事業税	48,691	100,929
法人税等調整額	32,591	36,993
法人税等合計	16,099	63,935
少数株主損益調整前四半期純利益	-	64,300
四半期純利益又は四半期純損失( )	4,451	64,300

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	376,194	569,168
減価償却費	285,608	274,296
減損損失	6,519	-
賞与引当金の増減額(は減少)	87,564	85,932
退職給付引当金の増減額(は減少)	21,427	39,853
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	33,782	3,133
受取利息及び受取配当金	3,982	8,976
支払利息	9,362	7,817
持分法による投資損益(は益)	25,057	55,680
固定資産圧縮損	37,283	93,975
投資有価証券評価損益(は益)	-	34,076
収用補償金	37,283	100,725
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	21,346
売上債権の増減額(は増加)	28,882	55,211
たな卸資産の増減額(は増加)	37,216	25,037
その他の流動資産の増減額(は増加)	10,441	305,674
仕入債務の増減額(は減少)	69,722	21,540
その他の流動負債の増減額(は減少)	54,994	35,819
その他	34,466	23,967
小計	605,603	521,414
利息及び配当金の受取額	4,107	8,976
利息の支払額	9,215	7,835
その他の収入	31,999	19,904
その他の支出	2,981	1,675
法人税等の還付額	14,555	-
法人税等の支払額	185,356	156,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,711	384,477
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	409,000	170,000
定期預金の払戻による収入	326,000	596,000
有形固定資産の取得による支出	228,742	122,088
無形固定資産の取得による支出	50,238	3,356
貸付けによる支出	475,610	340,500
貸付金の回収による収入	128,360	114,850
敷金及び保証金の差入による支出	43,866	2,768
収用補償金の受取額	79,410	-
その他	8,707	2,748
投資活動によるキャッシュ・フロー	664,978	74,884
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	97,000	80,750
社債の発行による収入	499,800	-
社債の償還による支出	499,800	-
自己株式の取得による支出	-	52
配当金の支払額	84,100	70,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	181,100	150,944
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	387,368	308,418
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,726	531,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	764,358	839,717



【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>資産除去債務に関する会計基準の適用</p> <p>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ1,965千円減少し、税金等調整前四半期純利益は23,311千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は54,555千円であります。</p>

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
(四半期連結損益計算書)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
(四半期連結損益計算書)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	<p>繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度以降に経営環境及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末 (平成22年6月30日)
1.有形固定資産の減価償却累計額は、5,033,047千円です。	1.有形固定資産の減価償却累計額は、4,772,934千円です。 2.保証債務 次の関係会社の金融機関からの借入に対し保証を行っております。 有限会社南九州バイオマス 134,048千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
販売手数料 109,049千円	販売手数料 122,079千円
荷造運搬費 627,057	荷造運搬費 633,589
貸倒引当金繰入額 2,858	貸倒引当金繰入額 1,217
役員報酬 102,289	役員報酬 96,350
従業員給与手当 408,800	従業員給与手当 464,673
雑給 489,098	雑給 507,011
賞与引当金繰入額 28,204	賞与引当金繰入額 29,253
役員退職慰労引当金繰入額 8,537	役員退職慰労引当金繰入額 7,949
退職給付費用 8,995	退職給付費用 14,000
減価償却費 118,135	減価償却費 96,386
賃借料 308,349	賃借料 313,804
研究開発費 76,056	研究開発費 73,875

前第3四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
販売手数料 37,187千円	販売手数料 40,463千円
荷造運搬費 194,322	荷造運搬費 198,843
貸倒引当金繰入額 2,787	役員報酬 30,929
役員報酬 34,156	従業員給与手当 132,214
従業員給与手当 117,230	雑給 165,572
雑給 159,893	賞与引当金繰入額 29,253
賞与引当金繰入額 28,204	役員退職慰労引当金繰入額 2,593
役員退職慰労引当金繰入額 2,844	退職給付費用 3,960
退職給付費用 2,858	減価償却費 33,347
減価償却費 42,525	賃借料 98,299
賃借料 106,130	研究開発費 24,003
研究開発費 26,781	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年3月31日現在) (千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年3月31日現在) (千円)
現金及び預金勘定 1,190,358	現金及び預金勘定 939,717
預入期間が3か月を超える定期預金 426,000	預入期間が3か月を超える定期預金 100,000
現金及び現金同等物 764,358	現金及び現金同等物 839,717

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年3月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数  
普通株式 5,617,500株
2. 自己株式の種類及び株式数  
普通株式 1,440株
3. 新株予約権等に関する事項  
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項  
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,201	12.50	平成22年6月30日	平成22年9月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

	鶏肉事業 (千円)	加工食品事業 (千円)	外食事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,526,011	205,997	709,269	15,528	3,456,806	-	3,456,806
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,642	-	-	4,514	75,157	(75,157)	-
計	2,596,653	205,997	709,269	20,043	3,531,963	(75,157)	3,456,806
営業利益	67,178	444	19,393	945	87,962	(64,664)	23,298

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

	鶏肉事業 (千円)	加工食品事業 (千円)	外食事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	8,003,868	740,370	2,200,423	49,247	10,993,909	-	10,993,909
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	236,710	206	-	20,198	257,115	(257,115)	-
計	8,240,579	740,576	2,200,423	69,445	11,251,024	(257,115)	10,993,909
営業利益	348,083	40,501	135,575	19,030	543,190	(209,221)	333,969

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

(1) 事業区分の方法...製品の種類別区分によっております。

(2) 各区分に属する主要な製品の名称

鶏肉事業 ...鶏肉の非加工品

加工食品事業...鶏肉に加熱、味付け等の加工を施した商品

外食事業 ...ケンタッキーフライドチキン店舗とピザハット店舗のFC事業

その他の事業...シラスパルーン(複合材)、ゼオライト(土壌改良剤、飼料原料等)及び無化学肥料減農薬野菜

2. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社の管理部門に係る費用であります。

前第3四半期連結会計期間 65,977千円

前第3四半期連結累計期間 213,159千円

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

海外売上高はないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業種別のセグメントから構成されており、「鶏肉関連」及び「外食」の2つを報告セグメントとしております。

「鶏肉関連」は主に鶏肉の非加工品や鶏肉に加熱、味付け等の加工を施した商品の製造及び販売を行っております。「外食」はケンタッキーフライドチキン店舗とピザハット店舗のFC事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成23年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,750,030	2,481,972	11,232,002	-	11,232,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	333	-	333	333	-
計	8,750,364	2,481,972	11,232,336	333	11,232,002
セグメント利益	295,773	230,751	526,525	2,613	529,139

(注)1. セグメント利益の調整額2,613千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当第3四半期連結会計期間（自平成23年1月1日 至平成23年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,739,249	788,424	3,527,673	-	3,527,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	-	39	39	-
計	2,739,288	788,424	3,527,712	39	3,527,673
セグメント利益	73,287	69,038	142,325	852	143,177

(注)1. セグメント利益の調整額852千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

( 1 株当たり情報 )

1 . 1 株当たり純資産額

当第 3 四半期連結会計期間末 (平成23年 3月31日)		前連結会計年度末 (平成22年 6月30日)	
1 株当たり純資産額	1,020.83円	1 株当たり純資産額	968.35円

2 . 1 株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額等

前第 3 四半期連結累計期間 (自平成21年 7月 1日 至平成22年 3月31日)		当第 3 四半期連結累計期間 (自平成22年 7月 1日 至平成23年 3月31日)	
1 株当たり四半期純利益金額	40.44円	1 株当たり四半期純利益金額	62.33円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自平成21年 7月 1日 至平成22年 3月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自平成22年 7月 1日 至平成23年 3月31日)
四半期純利益 (千円)	227,106	350,060
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	227,106	350,060
期中平均株式数 (株)	5,616,135	5,616,060

前第 3 四半期連結会計期間 (自平成22年 1月 1日 至平成22年 3月31日)		当第 3 四半期連結会計期間 (自平成23年 1月 1日 至平成23年 3月31日)	
1 株当たり四半期純損失金額	0.79円	1 株当たり四半期純利益金額	11.45円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結会計期間 (自平成22年 1月 1日 至平成22年 3月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自平成23年 1月 1日 至平成23年 3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 ( ) (千円)	4,451	64,300
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ( ) (千円)	4,451	64,300
期中平均株式数 (株)	5,616,135	5,616,060

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年5月7日

株式会社アクシーズ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 西元 浩文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成21年7月1日から平成22年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年7月1日から平成22年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成22年3月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年5月6日

株式会社アクシーズ  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成22年7月1日から平成23年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年1月1日から平成23年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年7月1日から平成23年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成23年3月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。